

収支予算書（損益ベース）に係る注記

1. 投資活動及び財務活動に関する見込み

（単位：円）

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
【投資活動収支の部】			
〈投資活動収入〉			
固定資産売却収入	0	0	0
車輛運搬具売却収入	0	0	0
什器備品売却収入	0	0	0
電話加入権売却収入	0	0	0
特定資産取崩収入	2,670,000	0	2,670,000
退職給付引当資産取崩収入	0	0	0
減価償却引当資産取崩収入	0	0	0
財政運営資金積立資産取崩収入	0	0	0
車輛購入積立資産取崩収入	2,670,000	0	2,670,000
敷金・保証金等戻り収入	20,000	0	20,000
敷金戻り収入	0	0	0
保証金戻り収入	0	0	0
預託金戻り収入	20,000	0	20,000
投資活動収入計	2,690,000	0	2,690,000
〈投資活動支出〉			
固定資産取得支出	2,800,000	0	2,800,000
車輛運搬具購入支出	2,800,000	0	2,800,000
什器備品購入支出	0	0	0
電話加入権購入支出	0	0	0
特定資産取得支出	2,270,000	3,640,000	△ 1,370,000
退職給付引当資産取得支出	1,050,000	990,000	60,000
減価償却引当資産取得支出	0	0	0
財政運営資金積立資産取得支出	0	0	0
車輛購入積立資産取得支出	1,220,000	2,650,000	△ 1,430,000
敷金・保証金等支出	30,000	0	30,000
敷金支出	0	0	0
保証金支出	0	0	0
預託金支出	30,000	0	30,000
投資活動支出計	5,100,000	3,640,000	1,460,000
投資活動収支差額	△ 2,410,000	△ 3,640,000	1,230,000
【財務活動収支の部】			
〈財務活動収入〉			
借入金収入	0	0	0
短期借入金収入	0	0	0
財務活動収入計	0	0	0
〈財務活動支出〉			
借入金返済支出	0	0	0
短期借入金返済支出	0	0	0
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
当期収支差額	△ 2,410,000	△ 3,640,000	1,230,000

2. 受取配分金等の増加に連動する費用（支払配分金・支払材料費等）に限り、予算額を超えて執行することができる。

3. 借入金限度額

令和5年度における鳥取銀行からの短期借入金限度額は1,000万円とする。

4. 債務負担額

令和6年度	1,300,752円
令和7年度	1,107,000円
令和8年度	1,107,000円
令和9年度	640,600円